

東京スカイツリータウン®

建物諸元(2025年12月現在)

所在	東京都墨田区押上一丁目1番2号
主用途	電波塔、商業施設、事務所
敷地面積	36,844 m ²
延床面積	227,520 m ²
階数	地下3階、地上31階
竣工年月	2012年2月
事業者・所有者	東武鉄道株式会社、 東武タワースカイツリー株式会社
設計会社	株式会社日建設計
施工会社	東街区:大林・株木・東武建設共同企業体 西街区:大成・東武谷内田建設共同企業体 タワー街区:株式会社大林組
管理会社	東武タウンソラマチ株式会社
URL	http://www.tokyo-skytreetown.jp
テナント数	約350社(特定テナント2社)

主な評価項目

I 一般管理事項

- ・毎月CO₂削減推進会議を開催し、積極的な改善策の立案・実施及び効果検証を実行
- ・徹底した計測計量によるコミショニングを実施

II 建物、設備性能に関する事項

- ・省CO₂技術を導入
VAV・VWV、大温度差システム、LED照明、屋光利用照明、太陽光発電、雨水利用、節水器具、屋上緑化など

III 運用に関する事項

- ・空調時間、室内温度を考慮した的確な空調設備運用
- ・照度点灯時間、照度条件の適正化
- ・きめ細やかなメンテナンスの実施

IV 事業所の再生可能エネルギーの利用に関する事項

- ・駐車場のZEV充電設備の実装

V 事業所のゼロエミッション化や環境配慮等の取組に関する事項

- ・ZEB化へのロードマップの策定を実施

事業所の概要

- ・東京スカイツリータウン(以下、「本施設」という)は、634mという世界一の高さの電波塔である東京スカイツリー®を擁する大規模開発である。
- ・本施設は、開発の理念として「水と緑 CO₂の情報発信ステーション」を掲げ、商業施設主体の開発でありながら、テナントも巻き込んだ街ぐるみの省CO₂推進を目標とした。
- ・2012年5月のオープン以来、開発理念を実現させるために、CO₂削減会議を毎月開催し、本施設の環境負荷削減に向けたエネルギー管理活動に取り組み、CO₂排出量の削減などの成果を挙げている。

事業所における環境負荷低減の取組

1. 建物の省CO₂技術と安全安心まちづくりとの融合

- ・高い断熱・遮光性能(東京スカイツリーイースタワー®)
- ・共用部を中心としたLED採用
- ・太陽光発電
- ・屋根雨水の貯留と有効利用
- ・地域に開かれた「緑の丘」の創造

2. 徹底した計測計量・データ収集分析

- ・全店舗・オフィステナントのエネルギー計量
- ・クラウドを利用したデータ収集システム
- ・テナントエネルギー見える化

3. 建物とDHCの連携による街ぐるみの

エネルギー管理

- ・エネルギー管理体制の構築
- ・CO₂削減推進会議によるエネルギー管理
- ・PDCAサイクルの実施
- ・店舗の従量料金制度の導入

事業所外観写真



取組のイメージ図

